

Akita Prefecture



(秋田ふきのとう県民運動シンボルマーク)

令和 6 年度の主な取組について

Akita pref.

秋田県健康福祉部 保健・疾病対策課

心はればれゲートキーパー養成講座

○ 事業概要

身近な人が発する心の不調のサインに「気づき」、その人へ「声かけ」をし、必要な支援先に「つなぐ」ことができる人材を養成することで、自殺者の減少と全ての人に優しい地域づくりを目指す。

○ 事業実績（秋田県ふきのとう実行委員会実施分を抜粋）

一般県民向け講座（3回）

【会場】北秋田地域振興局 等
【講師】保健所職員、地域内の精神科医
【参加者数】55人

勤労者向け講座（3回）

【会場】能代商工会館 等
【講師】秋田ふきのとう県民運動実行委員会、
地域内の精神科医
【参加者数】81人

出前講座（10回）

【会場】潟上市役所 等
【講師】秋田ふきのとう県民運動実行委員会、
市町村職員
【参加者数】120人 ※1/23(5回開催時点)まで集計

老人クラブ向け（4回）

【会場】仙北市角館交流センター 等
【講師】秋田ふきのとう県民運動実行委員会
【参加者数】339人 ※集計未了

NEW

※上記以外にも、各市町村や秋田大学、民間団体により取組が実施されている。

○ 来年度に向けて...

- ・エビデンスに基づいたより実効性のある研修とするため、秋田大学自殺予防総合研究センターが実施するプログラム開発への支援を実施予定。



あきたいのちのケアセンター

○ 事業概要

死にたい気持ちのある人や自死遺族のための電話相談窓口。相談者に対して医療機関や専門相談窓口についての情報提供を行うほか、緊急性のある自殺の相談に対しては介入を行う。

○ 相談実績（4～12月の累計）

<相談件数>

(件)

	R4	R5	R6
延べ相談件数	903	934	1,080 +146
内、新規相談	235	250	267 +17

※新規相談の件数は、新規相談者と年度新規相談者の合計件数

20歳未満の相談者について

○生徒・学生：7件、その他：6件

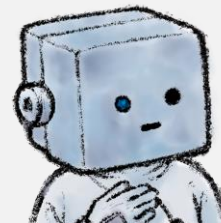
○男性：5件、女性：8件

○主な相談内容は、対人関係、家庭問題、不登校、自身の障害に関する事等

<新規相談の年代内訳>

(件)

年代	R4	R5	R6
20歳未満	3	9	13 +4
20歳代	46	29	35 +6
30歳代	33	33	35 +2
40歳代	25	44	37 △7
50歳代	27	35	40 +5
60歳代	23	26	40 +14
70歳以上	14	23	24 +1
不詳	64	51	43 △8



自殺予防キャンペーン

○ 事業概要

自身が心の不調を抱えた際や、身の回りの人から悩みを打ち明けられた際の相談先等について、多くの方に周知するため、相談窓口や心の不調への気づき方に関する啓発グッズを配布する。

○ 事業実績

8月：街頭キャンペーン

<会場>

- ・秋田駅 ぽぽろーど

※夏休み明けの8月下旬に開催。



12月：街頭キャンペーン

<会場>

- ・秋田駅 ぽぽろーど
- ・秋田大学

※若者向けの普及啓発を強化するため、秋田大学でも開催。



3月：啓発グッズの配布 等

<実施内容>

- ・各地域で開催される合同入社式の参加者へ、相談窓口等に関するチラシを配布
- ・各高等学校へ相談窓口のチラシ等を送付し、生徒の目につく場所への設置を依頼
- ・秋田魁新報に相談窓口等の広告掲載

啓発グッズ例（他に、秋田市作成のチラシ等も配布）

